

資料1



2 0 1 1 国際森林年の実施状況

平成23年8月3日 国際森林年国内委員会資料

(実績) 第2回国際森林年国内委員会 ～① 復旧・復興に向けた主な意見～



- ▶ 国産材で合板を製造することで、地元還元ができ復興に寄与できる。
- ▶ 三陸の海岸沿いに企業支援で緑の回廊をつくれないうか。
- ▶ 避難者の生活を改善するため、木造の仮設住宅の整備に取り組むべき。
- ▶ 復興のグランドビジョンをつくり、その中で森はどうあるべきか考えるべき。
- ▶ 都市部と地方部が非常時に備えて、お互いに資材(例えば、仮設住宅用木材など)を備蓄しておくべき。
- ▶ 林野庁が被災者を取り込む雇用の場をつくるべき。また、各都道府県に仮設住宅キットを備蓄しておくべき。



～② 国民に向けたメッセージ/宣言～

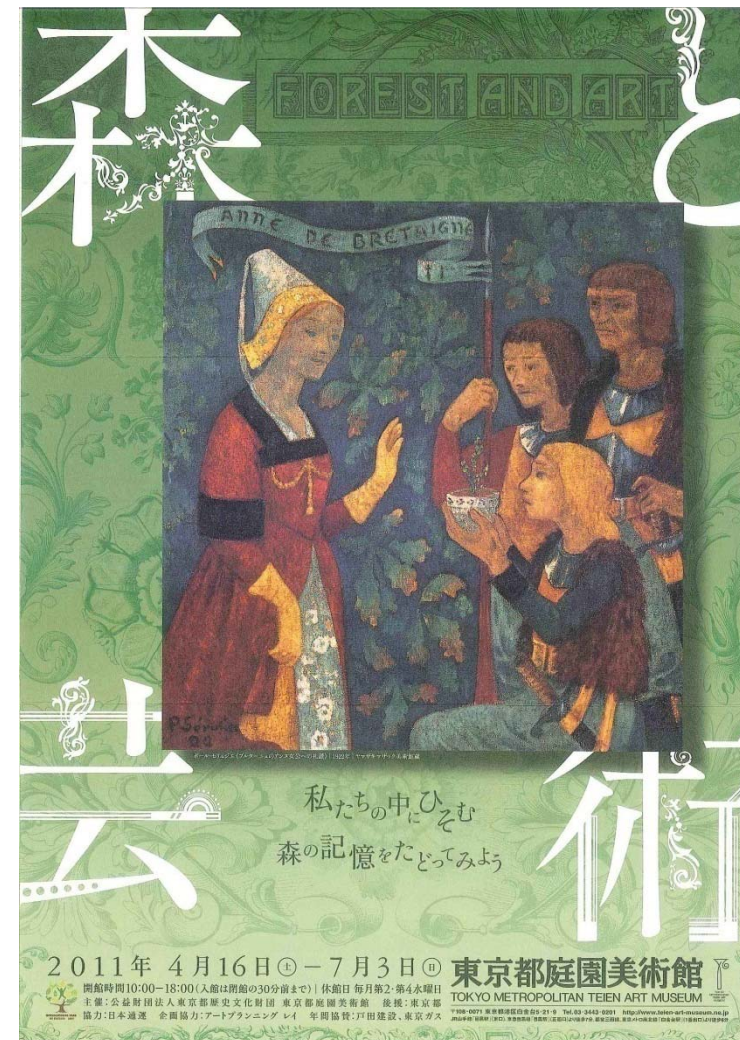
国際森林年終了以降も継続的な国民行動を促すため次のような位置づけのメッセージや宣言を発出することを了承。

1. 国際森林年の意味することを今一度多くの国民に伝え、国民がそれらの重要性を知り、理解し、認識を深める機会とする。
2. 国際森林年を終えた来年以降も継続的かつ積極的に国民が一丸となって豊かな森林を守り育てていくよう意識の向上を図り、具体的な行動を促す。
3. 東日本大震災復興を通し、森林や木との新たな付き合い方を模索し具現化することの意義を伝える。
4. 各企業・団体・個人が共通の認識下のもと、行動をするための指針になるようにする。

[illegible]

(実績) 「森と芸術」 展示会

- ▶ 4月16日～7月3日、東京都庭園美術館において「森と芸術」の企画展示が開催。
- ▶ 「私たちの中にひそむ森の記憶をたどってみよう」がテーマ。



(実績) 日本中央競馬会との連携

- ▶ 4月23日(土)、東京競馬場(府中市)において、国際森林年記念レースとして「新緑賞」を開催。
- ▶ 優勝は3番人気のショウナンバーズ号(牡3歳美浦・国枝厩舎 北村宏司騎手騎乗)。



(実施中) 国内委員会事務局による特別協力

- ▶ 4月より委託事業「国際森林年推進事業」により国際森林年国内委員会事務局を立ち上げ。
- ▶ 全国の様々なイベントに対して、のぼり等の広報媒体の供与をはじめ、ホームページによるPRの協力などを行い、国際森林年への認知を向上。

4月23日～24日のアースデー東京
(CWニコル・アフアの森のブース)



4月24日の「林試の森フェスタ」



(実績) 政府広報ラジオ番組

- ▶ 政府広報ラジオ番組「中山秀征のジャパリズム」で「自然の宝庫、森を歩こう！」をタイトルに放送。
(4月30日、5月1日)
- ▶ 田名部大臣政務官が自身の体験も交えながら解説。

中山秀征の
JAPAN RHYTHM ～ジャパリズム～



(実績) 国際森林年記念切手

- ▶ 5月20日、国土緑化・国際森林年記念切手が発売。
- ▶ 国連UNFFの呼びかけに応じ、世界的な記念切手発行の動きとも連携。
- ▶ 全国植樹祭開催地の和歌山県の代表的な樹木とセットのデザイン。



英国



フィンランド



フランス



(実施中) 全国植樹祭・全国育樹祭



- ▶ 5月22日に和歌山県で第62回全国植樹祭を開催。
- ▶ 11月20日に奈良県で第35回全国育樹祭を開催。
- ▶ 国際森林年子ども大使「葉っぱのフレディ」の参加など、国際森林年関連展示や国際交流活動を計画中。



全国植樹祭
(和歌山)



全国育樹祭
(奈良)

(実績) 震災復興支援シンポジウム

- ▶ 5月22日、国連大学において「森は海の恋人」の畠山重篤氏を基調講演に迎え、震災復興支援シンポジウムを開催。
- ▶ 森里海の連環、森づくりの循環や生物多様性の観点から震災復興と地域の再生を討論。
- ▶ 当日は皇太子殿下も行啓し、シンポジウムを聴講。



5/22
日曜日

震災復興支援シンポジウム

～国連生物多様性の10年と国際森林年を踏まえて～
会場：国連大学 ウ・タント国際会議場（渋谷区）
日時：2011年5月22日（日）・（国際生物多様性の日）
13:30～17:00（13:00開場） 日英同時通訳あり

入場無料
復興支援のため、
募金への協力を
お願いいたします

今回の震災・津波で大きな被害を受けられた東北地方の方々に心からお見舞い申し上げます。
不屈の精神で既に復興に向けた歩みを進められている東北地方の方々に応援するために、本シンポジウムを開催します。
気仙沼で森と海の連環に取り組んでこられているNPO法人「森は海の恋人」の畠山さんもその一人です。
畠山さんをお招きして、森・里・海の連環、森づくりの循環、生物多様性、農林漁業の振興など多様な観点から震災復興と地域の再生を議論します。

【シンポジウムプログラム】

○基調講演

演題：「震災復興に向けて～森と海の連環～」

講師：畠山 重篤氏（NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学社会連携教授）

○パネルディスカッション（敬称略）

コーディネーター：武内 和彦（国連大学副学長、日本造園学会会長）

パネリスト：畠山 重篤（NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学社会連携教授）

スリランカ・ヘラート（国連大学サステナビリティと平和研究所（UNU-ISP）学術審議官）、田中 寛（京都大学名誉教授）

東松 広行（林野庁林政部長）、橋本 牧（水産庁漁港整備部長）、渡邊 綱男（環境省自然環境局長）



(実績) 海岸林を考える



2011・国際森林年

- ▶ 東日本大震災で失われた海岸林の役割と再生について各層の関心が高まっているところ。
- ▶ 6月22日、木材会館(新木場)で日本海岸林学会がシンポジウムを開催。
- ▶ 7月4日、美しい森林づくり全国推進会議にて、海岸林復興をテーマに講演。
- ▶ 震災後4ヶ月の7月11日には公益財団法人オイスカが国際シンポジウムを開催。

海岸林を考えると
～東日本大震災からの復旧・復興に向けて～

東日本大震災では、津波により太平洋岸の広範囲の海岸林に甚大な被害が生じました。これら海岸林は、古くから、飛砂防備や防風、潮害防備などの効果を発揮してきており、今回の津波に対しても、海岸林が津波の勢いを和らげ、漂流物を捕捉するなどの一定の効果が確認されています。また、海岸林の多くは、地域の生活に密着しており、地域の生活に貢献してまいりました。今回の震災を契機として、海岸林の重要性を再認識し、その機能の再生のあり方について考えるシンポジウムを開催します。

海岸林を考えると
～東日本大震災からの復旧・復興に向けて～

平成23年6月22日(水)
13:30～16:15 (受付開始13:00)
木材会館 定員300名
参加費無料

話題提供

- ・海岸林のはたらき
吉崎 昌司(東京都市大学教授、日本海岸林学会副会長)
- ・津波による海岸林の被害と評価
坂本 知己(財団法人森林総合研究所東海・関東研究センター)
- ・被災地からの報告～高田松原での取組～
佐々木 裕(高田松原を守る会)
- ・庄内海岸林の保全活動
三沢 英一(万葉の松原に教しに会長)
- ・海岸林の再生に向けて
井上 晋(林野庁海山緑地調査研究班長)

パネルディスカッション

- ・コーディネーター
林田 光雄(山形大学教授、日本海岸林学会副会長)
- ・パネリスト
大田 盛彦(東京大学名誉教授)
吉崎 昌司 坂本 知己 佐々木 裕
三沢 英一 井上 晋

東北にもう一度、白砂青松を取り戻したい
海岸林を再生するために私たちに何ができるか

2011年7月11日(月) 17:30～20:30 参加費: 無料
東京 千駄ヶ谷「津田ホール」3階 日英同時通訳

日本では、海岸の緑の美しい景観を「白砂青松」と呼び、古くから大切に守ってきました。美しい白砂青松は、防風、防波、防食と多くの機能を果たしてきました。東日本大震災により2,000ha以上失われました。しかし、木を植える状況になるまでには、また、木を植える前に、植えるべき木の種類、植える時期、植える方法などについて、事前に十分な調査と計画が必要です。オイスカとしては、震災直後より植樹活動を始めています。調査と計画、植樹の調査も行っています。今回のシンポジウムでは、上空と地上からの調査結果などを、現状を多くの方に知って頂くとともに、あらためて海岸林の持つ機能を再認識し、再生への方向性をお伝えしたいと思います。また、海岸林は世界共通の存在です。そして今年には国際森林年でもあります。この復興のプロセスを海外の人にも発信し、一緒に行動したいと考えています。



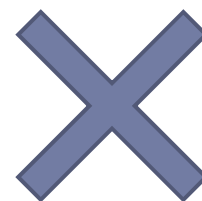

(実績) グリーンウェイブ×地球教室



- ▶ 5月29日、横浜市「こどもの国」において公益財団法人森林文化協会等によるグリーンウェイブ行事を開催。
- ▶ 朝日新聞と連動し、
 - ①USTREAM配信、
 - ②地球環境デーの紙面、
 - ③教材「地球環境教室」、
 - ④フリーペーパー「with Kidzania」等を通じて普及啓発。



グリーンウェイブ2011
The Green Wave 2011 in Japan



(実績) 小学生作文コンクール (森の町内会＋キッザニア東京)



- ▶ 小学生に、日本の森を元気にするためにはどうしたらいいかを考えてもらう、作文コンクールを実施。
- ▶ 6月2日(木)にキッザニア東京で表彰式を開催。最優秀賞者には林野庁長官から木の賞状を授与。
- ▶ 入賞者は、高尾森林センターでの林業体験に招待。



(実施中) エコ・ファースト推進協議会 による「エコとわざコンクール」



2011・国際森林年

- ▶ 6月～8月、森に関わる
ことわざを小中学生か
ら募集し、審査・表彰。
- ▶ 環境トップランナー企業
の集まりである「エコ・
ファースト推進協議会」
の取組。
- ▶ 表彰式は国際森林年記
念事業との連動も検討。



ビックカメラ



おいしさを笑顔に
KIRIN

暮らしを笑顔に
LION

INAX

SEKISUI HOUSE

NISSAN

Drive@earth
MITSUBISHI MOTORS

SHIGA BANK

NEC
NECソリューション

REMATEC
Innovation for the Earth

SANYO SYOJI
The Power of the Sun

ANA

損保ジャパン

DAIKIN

アイエス

dentsu

東京海上日動

日本興業銀行

住友ゴム

SHI/EIDO

NORITZ

MITCHELL

(実施中) いきものにぎわい企業活動 コンテスト



2011・国際森林年

- ▶ 国内外での生物多様性の保全、持続的な利用について、企業、組合等の活動を募集・顕彰するコンテスト(応募締め切り:7月20日)。
- ▶ 本年は国際森林年特別部門を設け、森林の再生・活用等、森づくりに関する特色ある活動を顕彰する。



(実績) 森林総研の公開講演会 「日本の森を活かそう！」



- ▶ 6月12日、東京大学安田講堂における森林総研の公開講演会には約600名が参加。
- ▶ 記念講演は佐々木毅氏の「日本政治と森林」。
- ▶ 国際森林年のサブテーマに沿って、最近の動向と最新の研究成果を紹介。

平成23年度 独立行政法人 森林総合研究所 公開講演会

日本の森を活かそう！

開催日時
平成23年 **6/12日**
13時00分～17時15分

開催場所：東京大学安田講堂
(東京都文京区本郷7丁目3-1)

参加費：無料(事前申込不要)

記念講演
日本政治と森林
～国際森林年に際して～

佐々木 毅氏
(社)東洋建設株式会社代表取締役社長
第27代東京大学総長

講演
「連携とイノベーションで日本の森を活かす」
日本の森を活かすために、今、何が必要か、何をすべきか！
最近の動向、新しい研究成果、さまざまな取り組みを紹介します。

パネル・ディスカッション
講演者にパネラーも加えてのパネル・ディスカッションでは、
「日本の森を活かす」ための討議を行います。明日の日本の森
をどのように活かすのが、森林(もり)の関与の姿を参加者全
員で描いてみましょう！

後援：森林・木材・環境アカデミー、日本森林学会、一般社団法人 日本森林科学会、財団法人 林学会、日本園芸学会

問い合わせ先
独立行政法人森林総合研究所 企画部研究情報広報係
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1番地
TEL：029-829-8134 FAX：029-873-0844
E-mail:kouho@ffpri.affrc.go.jp URL: http://www.ffpri.affrc.go.jp/

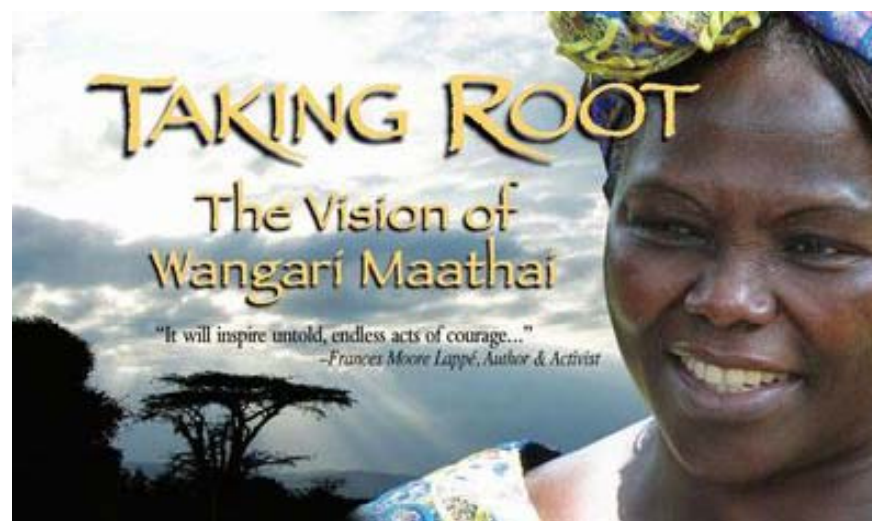
2011 国際森林年 FFPRI

※リサイクルマークの表示：紙・リサイクル紙

(実績) MOTTAINAI GREEN 2011



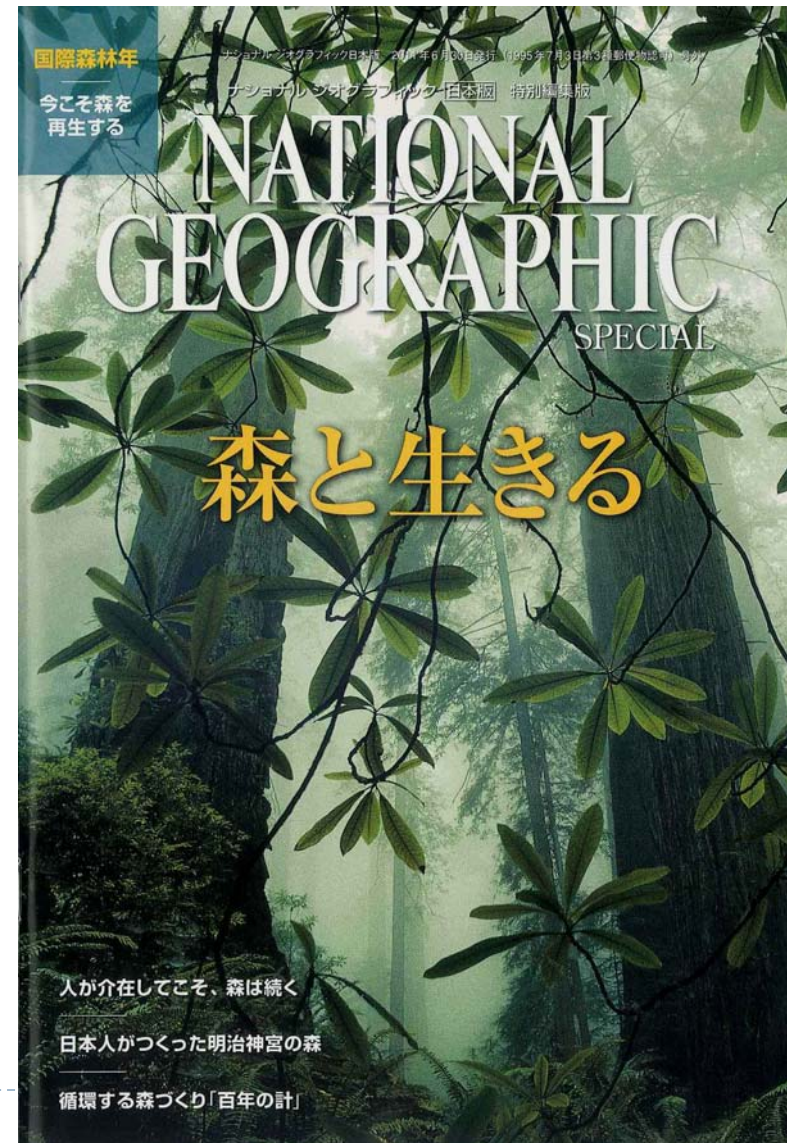
- ▶ 6月19日、イオンレイクタウンにて、ケニアの植林活動支援や、国内の森や木の再生、有効活用までMOTTAINAIキャンペーンの活動を国際森林年に併せて紹介。
- ▶ 6月29日、毎日ホールにて、ワンガリ・マータイさんのドキュメンタリー映画の国内初上映会を開催。



(実績) 雑誌連携： ナショナルジオグラフィック日本版



- ▶ 6月30日、ナショナルジオグラフィック日本版の別冊として、森林特集が定期購読者向け7万5千部に同封。
- ▶ 特集の中では森林・林業再生プランが紹介されるほか、農林水産省からも国有林野事業に係る広告を出稿。
- ▶ 森林特集は別途、5千部をイベントなどで配付。



(実施中) 木のうちわ大作戦

- ▶ 東日本大震災の被災地支援と夏の節電対策のため、被災県の間伐材で作られた木のうちわの使用を呼びかけ。
- ▶ 被災地以外で生産される木のうちわには義援金を付加。
- ▶ 農林水産省職員用のうちわにはロゴマークを入れ、国際森林年の認知向上に寄与。

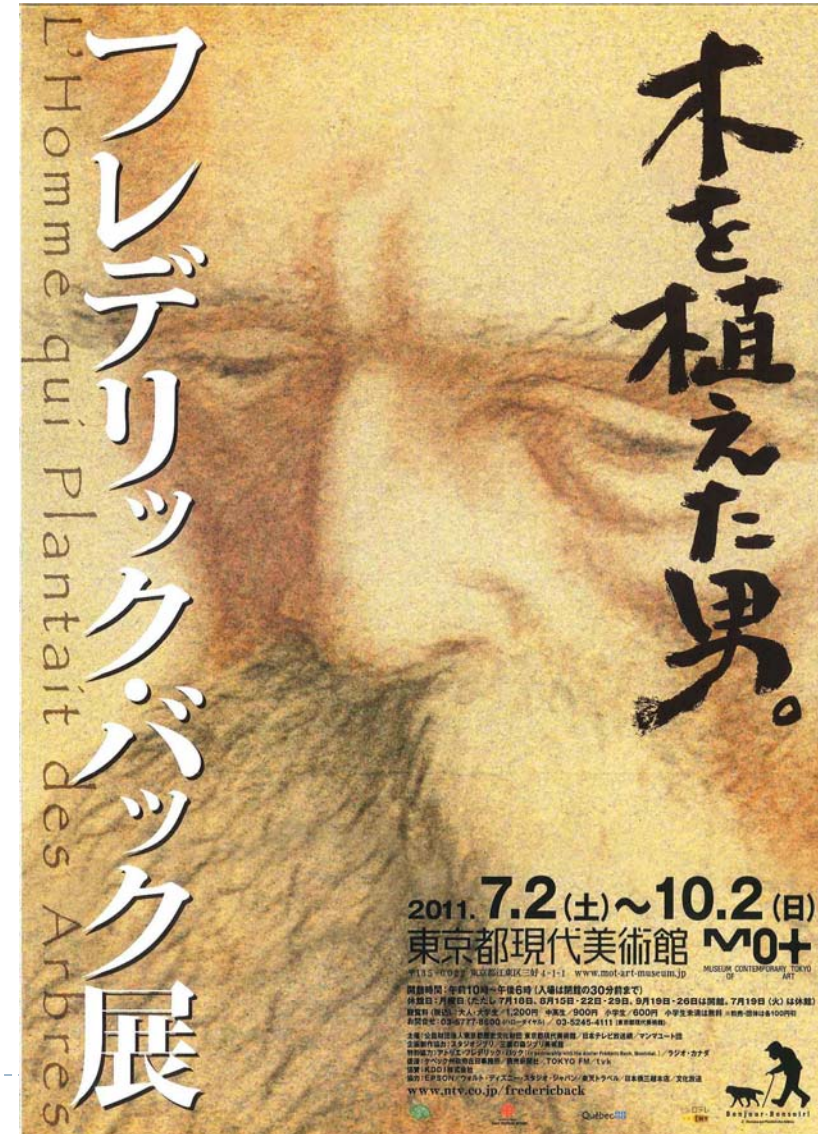


(イメージ)

(開催中) 「木を植えた男」 フレデリック・バック展



- ▶ 7月2日(土)～10月2日(日)、東京都現代美術館において、フレデリック・バックの企画展示が開催。
- ▶ 「木を植えた男」を含め、アカデミー賞を2度受賞したアニメーション作家であり、展示はスタジオ・ジブリが企画協力。



(実績) 第5回美しい森林づくり 全国推進会議



- ▶ 7月4日(月)に経団連ホール(東京都千代田区)で開催。田名部大臣政務官が来賓挨拶。
- ▶ 国際森林年記念シンポジウムを併催。「東日本大震災被災地の復興」や「グリーン・エコノミー」などをテーマに、講演や事例発表、パネルディスカッションを実施。



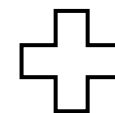
(実績) 森を守ろうチャリティコンサート



- ▶ 国際森林年を記念する「森を守ろうチャリティコンサート」を開催。
- ▶ 収益は国土緑化推進機構への寄付。

日時: 7月12日(火) 夕刻
演奏: 読売日本交響楽団、
宮本笑里(バイオリン)
場所: 浜離宮朝日ホール

読売新聞



朝日新聞



指揮: 円光寺雅彦
バイオリン: 宮本笑里



(実施中)

市民と森林をつなぐ国際森林年の集い



2011・国際森林年

- ▶ 夏頃、地方団体と連携したシンポジウムを全国7箇所で展開(例:7月17日、岡山県真庭市)。
- ▶ 映画「森聞き」でも紹介された「森の名人」の知恵や技術を次世代に伝承。
- ▶ 東北地方では震災復興の要素を加えて実施。
- ▶ 「国際森林年推進事業」の取組の一つ。





「国際森林年の集い」 開催一覧

日程	開催地	国内委員の参加
7月17日(日)	岡山県真庭市	ニコル委員
7月23日(土)	宮崎県宮崎市	坂本委員
7月23日(土)	滋賀県長浜市	—
8月17日(水)	大阪府大阪市	—
8月27日(土)	京都府京都市	—
9月4日(日)	北海道紋別市	天野委員
10月8日(土)	岩手県盛岡市	飯塚委員、多田委員
10月中下旬	大阪万博記念公園	検討中
10月下旬	福島県福島市	検討中
10月下旬	石川県かほく市	検討中

(実績) 国際森林年記念会議 「生物多様性・観光と森林」



- ▶ 7月21日(木)、名古屋市において中日新聞社と共催するシンポジウムを開催。
- ▶ 「国際生物多様性の10年」の開始及び小笠原諸島の世界自然遺産登録の普及啓発を目指す。
- ▶ 「国際森林年推進事業」による国際森林年記念会議の第一弾。



小笠原世界遺産登録



(予定) 緑の少年団活動

- ▶ 全国の3829団の緑の少年団により国際森林年を記念した森づくり活動や森林環境教育及び交流会を実施。
- ▶ 8月3日～5日、国際森林年子ども大使「葉っぱのフレディ」も参加し、岐阜県で「グリーンジャンボリー」を開催。



(予定) 「学校林・遊々の森」 全国子どもサミットin信州



2011・国際森林年

- ▶ 「学校林」「遊々の森」での学習・体験活動を広げていくため、8月4日～5日に長野県松本市で開催。
- ▶ 子どもたちの森林での活動の発表、先生方による意見交換会などを行い、その内容を全国の小学校に情報発信。
- ▶ 国際森林年を記念して、海外での植樹活動のパネル展示なども実施予定。

広めよう！森林づくりの大切さの輪を全国へ！

2011・国際森林年

国際森林年記念イベント開催

「学校林・遊々の森」
全国子どもサミットin信州

平成23年
8/4 木 13:00～
～5 金 12:00～

場所 浅間温泉文化センター
〒390-0303 長野県松本市浅間温泉2丁目6番1号

主催：「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin信州 実行委員会
構成：林野庁、中部森林管理局、(財)オイスカ、(社)国土緑化推進機構、長野県
(財)長野県緑の基金、長野県教育委員会、松本市教育委員会
(財)日本森林林業振興会長野支部、(社)全国森林レクリエーション協会長野支部
NPO法人やまぼうし自然学校
後援（申請予定）：文部科学省、各種機関 他

●サミットの主なプログラム●

1日目 8月4日(木)
海外からの林業研修生を囲んでの交流会
「学校林・遊々の森における活動」や「森づくりの夢」の発表会
ゲームら自然の恵みを使った工作など
自然を使った遊びを楽しもう！
先生方等による意見交換会

2日目 8月5日(金)
標高2,000メートルの美ヶ原高原において、貴重な動植物の観察（自然散策）

2011年は「国際森林年」です。



2011 国際森林年

(予定) 第10回聞き書き甲子園

- ▶ 8月11日、「聞き書き甲子園」研修会の開講式をフレデリック・バック展に合わせ東京都現代美術館で開催することを計画中。
- ▶ 映画「森聞き」を上映するとともに、いとうせいこう氏のラジオ番組「GREEN FESTA」の公開録音を実施。



第10回 聞き書き甲子園



(予定) 二科展でのポスター展示

- ▶ 「二科展」デザイン部ポスター部門で、国際森林年をテーマとした公募展を実施。
- ▶ 8月31日～9月12日の六本木・国立新美術館を皮切りに、全国の巡回展で展示。
- ▶ 受賞したポスターは、その他の国際森林年イベントでの活用も検討。



(予定) トーハンの読書キャンペーン



- ▶ 読書の秋を目途に、出版流通大手による書店と図書館のネットワークを活用して森林に係る読書キャンペーンを実施。
- ▶ 注目度の高い書籍のオビを使い、国際森林年や森と紙の関係について普及啓発を行う。



2011 国際森林年



観光庁と連携した記念行事

- ▶ 第7回日本観光交流・伊勢会議(6月11日)
- ▶ 駐日大使との日光・鬼怒川ツアー(6月25日～26日)
- ▶ 第1回ロングトレイルフォーラム(7月8日、長野県小諸市)
- ▶ フジロックの森プロジェクト記者発表(7月11日)
- ▶ 日光杉並木マラソン(8月7日)
- ▶ 国際森林年記念シンポジウム(9月11日、北海道札幌市)



- 写真は青森県の奥入瀬溪流:東北森林管理局管内。
- 我が国における国際森林年のテーマは「森を歩く」。